

5・6年の家庭学習

自学自習の習慣を身につけよう！

★5・6年生は、自分で考えて行動するなど主体性が
芽生える時期です。具体的な目標を決めることで
自主的に学習できるようになります。

学習に対する興味・関心を高めるためには家
族の言葉かけが重要になります。目標へ向けて
計画的に学習ができるように励ましましょう。

★家庭学習時間は[学年×10分+10分以上]が
目安です。

5年生は、5×10分+10分で、**60分**

6年生は、6×10分+10分で、**70分**

算数

がんばりましょう

学習時間のめやす
60～70分

- ・小数・分数も含めた四則演算の基本問題は確実にできる力を身につけましょう。
教科書の問題をできるようにすることが、基礎・基本の定着につながります。学
校でやった問題を復習すると、家庭学習も定着していきます。
- ・参考書や問題集を使っていろいろな問題にチャレンジすることも大切です。
- ・計算力を高めるために、間違いやすいパターンの計算は繰り返し練習しましょう。
- ・文章問題は、1つ1つの言葉に目を向けさせ、言葉のつながりを考えて、正しく読
み取りましょう。問題の文をまねして、問題を作ると文章問題が得意になります。
- ・よくわからない問題は、図をかいたりして考えたりするとわかりやすくなります。
(言葉からイメージ化する力は算数でも大切です。)
- ・わからないところはそのままにせずに、先生や家の人に聞くことが大切です。

国語

*漢字～5年185字 6年181字

<音読>

- ・情景(イメージ)を思い浮かべながら音読しましょう。
- ・地の文、会話文を意識して音読しましょう。
- ・心情を考え、なめらかに音読できるようにしましょう。
- ・しっかり声を出して読むことで、漢字も身につけていきます。
- ・声の大きさや読むスピードを、自分で工夫すると良いです。

<漢字>

- ・読めない漢字は読み方を調べておきましょう。
- ・漢字のつくりや形を意識して練習すると良いです。
- ・漢字を使った短文作りは、字の使い方も覚える良い方法です。

<言葉>

- ・国語辞典や漢字辞典を手元に置き、積極的に使いましょう。

<読書>

- ・いろいろな種類の本を読むことが大切です。・毎日、本に向か
う時間をつくりましょう。」まずは、1日10分の読書を！

<作文>

- ・自分で体験したことを作文や日記に書いてみましょう。

その他

- ・理科や社会、総合的な学習の時間などの調べ学習も計画的に
やりましょう。

時間の目安を決めて生活リズムを整える！

そして、「明日の準備」「宿題・自学に自分から取
り組む」「整理整頓」ということの習慣づけを！